

# 年収200万円



## からの



28歳までに抱えた多額の借金を返済し、  
7年で資産をつくり、お金に困らなくなった人の  
自分年金のつくり方

## 「お金と人生を




## 真剣に考える」



## 講義

将来の  
お金について  
考えないと、  
本気で  
やばくない？



結婚、養育費、車、家、年金、親の介護……  
「年収が低い」と嘆く前に、  
できることから始めよう！

田口智隆  
TOMOTAKA TAGUCHI



はじめに　　＼年収630万円あれば、幸せに感じる？＼

突然ですが、人間はいったいどのくらいの年収があれば幸せを感じることができるのか、あなたはご存知だろうか。

それを知っているかどうかで、あなたの目指すゴールが見えてくる。

米国プリンストン大学の教授らが、米国人45万人以上を対象に年収と幸福の関係について分析をした。

その結果、収入が上がるにつれて生活の満足度は上昇するものの、幸せな気分は年収7万5千ドル（約630万円）前後のところまで頭打ちになるということがわかった。

つまり、年収630万円程度あれば、人間は十分に幸福を感じながら生活を送ることができるといふのだ。

どうやら年収は高ければ高いほど、お金があればあるほど幸せというものでもないらしい。

この真実を聞いて、少し気が楽になったのではないだろうか。

だから私も、億万長者になろう！とか、投資で大儲けしよう！ということを言うつもりはない。

長者番付に載るような大金持ちになりたいわけではない。事業で大成功して「情熱大陸」に出演したいというほどの向上心も持っていない。

でも、お金の心配をせずに安心して毎日の生活を送りたいという気持ちはある。

この本はそんなあなたに向けて書いた本だ。

億万長者になることを目指す本でもなく、一攫千金を狙いたい人のための本でもない。ただ、お金のストレスを感じることなく、安心して老後を迎えたいと真剣に考えている人たちに向けて書いた本だ。

年収200万円を稼いでいる人であれば、十分に到達が可能な目的地だ。

今の年収がいくらなのかは問題ではない。

お金にストレスのない生活を手に入れる方法をわかりやすくお伝えするので、しっかりと吸収して、第一歩を踏み出してほしい。そして、あなたが望む「未来」を手に入れてほしいのだ。

こんな偉そうなことを言っている私も、実は今から10年前、28歳のときには貯金どころか500万円もの借金を抱えていた。

気前よく人に食事をおごり、ネオン街で遊びまくり、クレジットカードでブランド

物を買ひ揃え、ギャンブルにのめりこんでいた。

当然のように、月日が経つごとに借金だけは大きくなっていったが、今が楽しければそれでいい。せこせこ貯金なんかするよりも、お金を使って仲間と笑顔でいらればそれでいいと思っていた。

が、物事には必ず終わりというものがある。

クレジットカードという名の「魔法のカード」の効力が切れたとき、私は「死」を感じたのだ。

「28歳の塾講師、借金を苦に飛降り自殺」

主婦向けのワイドショーで一日だけ放送されたきりで、ひっそりと人生の幕を下ろす。

泣いてくれる人はいるだろうけど、時が経てば私がいたことも記憶の底に眠っていつてしまうんじゃないだろうか。

そんな映像がリアルに頭のなかによぎりはじめたのだ。

「このままではヤバイ！」と一念奮起したのは、28歳の年末。

当時しがない塾講師だった私に、資産作りや投資の知識など、あるはずもない。まずは書店に足を運び、投資の本を買うところからはじめた。

結果として、努力が実を結び、お金に困らない状態を築きあげることができた。実体験をもとに、お金のカウンセリングをはじめたところ、非常に好評いただき、講演してほしいと依頼をされるようになった。

縁あって、本を出版することもできた。

ここで、いきなり私がこんなことを告白したのには、二つのわけがある

ひとつは、程度の差こそあれ、今の20代30代の多くはお金に困っている状況である

ということ。

晩婚化や共働き家庭の増加、少子化などの社会現象の背景には、少なからず金の問題が関係しているのはあなたもご存知だろう。

もっと身近な例をあげよう。

実は、ほとんどのビジネスパーソンは「給料がなかなか上がらない」と嘆いている。多くの人は誰にぶつけるでもない悩みを抱え、仕事をしている。

みんな表だって口には出さないが、お金をめぐるストレスを多かれ少なかれ、感じているものなのだ。

さて、実際、あなたはどうか？

貯金もほとんどない状態で、給料日を心待ちにしている状況ではないだろうか。

たとえ貯金があったとしても、

「自分が心から好きになった相手と幸せな家庭を築けるのだろうか」

「自分をここまで育ててくれた両親に親孝行ができるのだろうか」

という問題をそろそろ先送りにはできなくなってきたという人もいるだろ

う。

ワラにもすぎる思いでこの本を手を取ってくれたかもしれないが、それでいいと思う。

まず大事ななのは、今の状態を正しく認識できるかなのだ。

その点、あなたは他の人よりも一歩先を行っている。

そして、もう一つは、今の状態がどうであれ、あなたには未来があるということだ。人生をあきらめるにはまだ早すぎるのではないか、とあなたに感じてもらいたいのだ。

あきらめる前に、「お金と人生」について真剣に考え、行動してほしい。

それでは「お金と人生を真剣に考える」講義のスタート。



## 年収200万円からの「お金と人生を真剣に考える」講義

はじめに　　～年収630万円あれば、幸せに感じる？～

3

### 第1章



### お給料だけで大丈夫？

給料はこの先上がらない!?

18

この先、いったいどれくらいのお金を持っていれば安心？

22

「自分年金」を作ろう!!

27

給料以外に3つの収入を手に入れよう

35



**雪だるまを作るまえに**

**〵お給料とお小遣いを見直そう〵**

本業をおろそかにしない 42

なぜ宝くじで1等が当選した人は不幸になるのか? 45

衣食住の見直しを! 49

「90日マネーレコーディング」で月々のムダをチェック! 56

「消費」を「投資」に転換しよう! 62

給料天引きなどの自動積立を活用しよう 68

「所有」ではなく「使用」へ発想を転換しよう 70

収入の10%ぐらいは節約とか考えないで使ってみることも大事 74



## 雪だるまを作るう

### く副収入を手にいれようく

お給料以外の副収入で、毎月3万円を稼ぐことを目標にする 80

部屋にあるいらないモノを有効活用しよう！ 82

自分メディアを立ち上げる 86

「単なる労働」ではないアルバイトも選択肢の一つ 92

自分が好きなことや得意なことでお金を生む仕組みを作る 94

副業収入で成功をしている人の例 99

第4章



**雪だるまを大きくしよう！**

**～投資のスタート～**

3万円+ $\alpha$ をタネ銭にする 108

時間をもったいないから、まずは株には手を出さない 111

「二つの力」に卵は盛るな」の原則 118

平均でも優等生になれるインデックスファンド 124

選ぶポイントとなる3つの数字 128

最低限クリアのポイントを押さえておけば大丈夫！ 131

積立投信を活用しよう 134

人類史上最大の発見「複利のパワー」 137

口座開設の流れと選び方 140

「キャピタルゲイン」と「インカムゲイン」 144

日々の価格変動は気にするな  
148



**大きくなった雪だるまから、小さな雪だるまを生み出す  
→フロー収入を得る→**

のんびり投資で1000万円築いた後は…  
154

不動産投資信託「REIT」  
159

REITを選ぶコツ  
163

収益不動産を購入しよう  
165

買っていい物件・ダメな物件  
170



## お金のストレスフリーを実現したら…

やりたいことを好きなだけ思い浮かべよう！	178
毎月の積立は続けよう！	183
人におごるよりも寄付をしよう！	185
他の投資にチャレンジもOK！	187
人生初体験を毎月1回やってみよう！	190
おわりに	195

### 注意事項…

投資は100%ご自身の判断と責任において行ってください。本書の内容をもとに投資を行い、もし損失を被った場合でも、著者ならびに出版社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## **CONTENTS**

**給料はこの先上がらない!?**

**この先、いったいどれくらいのお金を持っていれば安心?**

**「自分年金」を作ろう!!**

**給料以外に3つの収入を手に入れよう**

## 第 1 章



**お給料だけで大丈夫？**



## 給料はこの先上がらない!?

今若い世代の人たちは、たいへん過酷な状況にさらされている。

毎日のようにニュースで流される就職難の話。

学生の就職はここ10年以上、本当に厳しい状態が続いている。

そんな厳しい就職活動を勝ち抜いて就職先が決まったとしても、会社が倒産したり、人員削減のリストラにあったりで、定年までのお給料が保障されているわけではない。どんなに有名企業の社員でも、公務員であっても、一生安泰というわけにはいかないのだ。

お給料だって、思うようには上がらない。それなのに、税金や社会保険料はジワジワと上がり続ける。かつてはボーナスをあてにすることができたが、今のこの状況で

は、もはやボーナスなんて期待できないのではないか。

この先、年齢やキャリアとともに給料が上がっていけばいいけれど、やれ「実力主義だ」「能力重視だ」とは口先ばかりで、給料が上げる気配は一向に感じられない。

きっとあなたは、次に挙げるような思いを多少なりとも抱えながら日々を過ごしているのではないだろうか。

「今はお給料20万円で何とか暮らしているけど、この先お給料って上がるの？」

「マイホーム、車、お嫁さん…、欲しいものはたくさんあるのに、今のままの給料で果たして本当にやっていけるのだろうか？」

ここで、あなたに深刻なことをお伝えしなければならない。

残念ながらあなたのお給料はこの先、上がらない。

国税庁「平成21年分 民間給与実態統計調査」によると、平成21年（平成21年12月

31日現在)のサラリーマンの平均年収は405・9万円。

サラリーマンの平均年収は9年連続で減少しているのが現実だ。

あなたがどれだけ優秀だろうが仕事熱心だろうが、もう一生安泰で暮らしていくだけの給料をもらえるかと言ったら、とてもじゃないがそんな楽観視はできない。

決してあなたが悪いわけではない。日本はそういう流れになってしまっているのだ。よほどのことがない限り、この流れが今後ひっくり返ることはないだろう。

いや、もつと言おう。日本の企業はもはや潤沢な利益を得たとしても、それを社員全員に還元していくだけの余裕がもうない、というのが本当のところだ。

「経費削減」「減給」「人員整理」「非正規雇用の拡大」をしていかないと、とてもじゃないけどやっていけないというのが現実なんだ。

「今のままじゃ何かヤバそうだ…」

そう思って本屋に入り、この本を手に取りれたあなたは、間違いないほかの人よりも意識が高くて優秀な人に違いない。

ビジネス書&語学書

# 著者の本音!

立ち読みデータはここまでです。  
続きはぜひ、書店さんでお求めください。

- ・アマゾンでのお求めは、[こちら!](#)
- ・紀伊國屋書店でのお求めは、[こちら!](#)
- ・e-hon でのお求めは、[こちら!](#)
- ・楽天ブックスでのお求めは、[こちら!](#)
- ・本やタウンでのお求めは、[こちら!](#)

突撃  
インタビュー



 明日香出版社